

CISPR16 答申作業状況について

平成 25 年 11 月 22 日

CISPR16 答申アドホックリーダー 石上忍

平成 25 年 9 月 20 日に第 1 回の CISPR16 アドホックグループ会議が開かれ、CISPR 16 シリーズの答申作業を以下のように進めることを決定した。また、アドホックグループ会合は、既に 2 回開催され、具体的な答申案作成作業が開始された。

1. CISPR16 アドホックグループリーダーに、石上忍氏 (NICT) が指名された。
2. グループのメンバーは以下の通り。
石上 (NICT、アドホックグループリーダー)、秋山 (NTT)、雨宮 (NTT-AT)、長部 (VLAC)、井上 (KEC)、垂澤 (NTT ドコモ)、平田 (富士ゼロックス)、星 (VCCI)、篠塚 (NICT)、中嶋 (JQA)、中村 (JBMA)、田島 (NTT-AT)、黒沼 (協立電子工業)、松本 (NICT)、三塚 (TELEC)、山下 (JET)
3. 事務局は総務省電波環境課が行う。
4. 答申作業の進め方と現在の進行状況
 - (a) 以下の国際規格を答申作業の対象とする。
 - (1) CISPR 16-1-1 Ed. 3.1 (2010-11)
 - (2) CISPR 16-1-2 Ed. 1.2 (2006-08)
 - (3) CISPR 16-1-4 Ed. 3.1 (2012-07)
 - (4) CISPR 16-2-1 Ed. 2.2 (2013-03)
 - (5) CISPR 16-2-3 Ed. 3.1 (2010-08)
 - (6) CISPR 16-4-2 Ed. 2.0 (2011-06)
 - (b) 答申は 2 回 (「CISPR16-1-1、CISPR16-1-2、CISPR16-1-4」及び「CISPR16-2-1、CISPR16-2-3、CISPR16-4-2」) に分けて出す方針とする。CISPR32 が 2 年間かけて答申を出す予定であるので、それに合わせて 2015 年末を目処に答申(案)をまとめることを方針とする。
 - (c) 答申書に必要なものは、答申書本体、デビエーション、前回答申との対照表とする。publication の和訳は作るが、答申書には含まれない。
 - (d) 先ず、CISPR16-1-1 について作業を行う。その後、16-1-2、16-1-4 と進める。
 - (e) CISPR16-1-1 の和訳担当を以下のように分担して、和訳作業を開始した。現在(11/22)、16-1-1 の和訳が約 1/4 済んでいる。

・ CISPR16-1-1 に関する代表者 (全体をみる) : 石上リーダー

No.	ページ	担当者名	所属
1	P8-P11	秋山構成員	NTT 環境エネルギー研究所
2	P11-P18	雨宮構成員	NTT アドバンステクノロジー (株)
3	P19-P22	垂澤構成員	(株) NTT ドコモ先進技術研究所
4	P23-P27	長部構成員	(一財) VCCI 協会

5	P27-P32	黒沼構成員	協立電子工業（株）
6	P32-p36	篠塚構成員	（独）情報通信研究機構
7	P36-P40	田島構成員	NTT アドバンステクノロジー（株）
8	P41-p45	井上構成員	（一社）KEC 関西電子工業振興センター
9	P46-p50	中嶋構成員	（一財）日本品質保証機構
10	P50-P53	中村構成員	（社）ビジネス機械・情報システム産業協会
11	P54-P56	平田構成員	富士ゼロックス（株）
12	P57-P60	星構成員	（一財）VCCI 協会
13	P60-P65	松本構成員	（独）情報通信研究機構
14	P66-P71	三塚構成員	（一財）テレコムエンジニアリングセンター
15	P72-P75	山下構成員	（一財）電気安全環境研究所
16	P76-P79	石上リーダー	（独）情報通信研究機構

以上